

画像を用いた悪性末梢神経鞘腫瘍の予後予測に関する研究

1. 研究の対象

2000 年 4 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに当院において組織学的に MPNST と診断され、初診時転移を認めず手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

悪性末梢神経鞘腫瘍(MPNST)は悪性軟部腫瘍の中でも予後不良な腫瘍の1つです。予後因子として神経線維腫症1型(NF1)、腫瘍径、腫瘍発生部位、手術切除縁などが報告されていますが、画像上の予後因子は報告されていません。本研究では、治療前の臨床項目とMRI画像から予後を予測できるスコアリングシステムを構築することを目的としています。そして、MPNSTに対してより適切な治療介入ができることを目指します。2000年4月1日から2021年12月31日までに当院および他施設において組織学的にMPNSTと診断され、初診時転移を認めず手術を受けられた方を対象とし、年齢・性別・NF1の有無・腫瘍発生部位・腫瘍サイズなどの治療前の臨床項目と術前MRI像におけるT1・T2像の不均一性、T1・T2像の腫瘍辺縁、腫瘍周囲の浮腫像、腫瘍周囲の造影効果、壊死範囲などを調査します。メタ分析論文を用いて予測因子を選択し、因子を説明変数に用いて、患者データでCox回帰またはロジスティック回帰分析を行い、算出された回帰式の係数をスコアとします。総スコアをカテゴリー化するためのカットオフ値を決めるために、ROC曲線を求め、スコアリングシステムを構築します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、画像データ、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

札幌医科大学 整形外科 江森 誠人

秋田大学 整形外科 土江 博幸

大阪大学 整形外科 伊村 慶紀

大阪国際がんセンター 整形外科 竹中 聡

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

大阪国際がんセンター 整形外科 中井 翔
住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69
電話：06-6945-1181

研究責任者：

大阪国際がんセンター 整形外科 竹中 聡

研究代表者：

札幌医科大学医学部整形外科学講座 江森 誠人

-----以上